

# 目次

はじめに	3
テンプレートの説明	3
実行方法	3
bookdown 版でとてもお世話になったサイト	4
概要	4
本書の特徴	4
想定読者	4
各章の紹介	4
執筆環境	5
R および RStudio、パッケージのバージョン	5
使用上の注意など	5
ライセンス	5
第 1 章   マークダウンの基本	7
1.1    セクションへのリンク	7
1.2    図表へのリンク	7
第 2 章   図表	9
2.1    図	9
2.2    表	10
第 3 章   注意事項	11



- [illegible]

## テンプレートの説明

- ## 実行方法

- Build タブで
  - Render Book > HTML Format
  - Render Book > PDF Format

bookdown 版でとてもお世話になったサイト

- [Bookdown](#) による技術系同人誌執筆

## 概要

- 本書の目的
  - 説明
- 本書の内容
  - 説明
- 執筆動機
  - 説明
- 今後の展望
  -
- 本書の内容は、[github](#) レポジトリですべて公開

## 本書の特徴

- 本書の強み
  -

## 想定読者

- R と RStudio をダウンロードして PC にインストールまでできることが最低条件

## 各章の紹介

- [1](#)章では

ind	values
version	R version 4.3.0 (2023-04-21 ucrt)
os	Windows 10 x64 (build 19045)
system	x86_64, mingw32
date	2023-11-15

package	loadedversion
tidyverse	2.0.0

## 執筆環境

- 本書は[Quarto](#)にて執筆
  - バージョン 1.3.433

## R および RStudio、パッケージのバージョン

- rstudio だけなぜか表示されないので手動で...
  - バージョン RStudio 2023.09.0+463 “Desert Sunflower”

## 使用上の注意など

- 本書の内容はすべて windows 環境を想定しています。
- この本に書いてある内容は、筆者が学習したことをまとめているものにすぎないため、正常な動作の保証はできません。使用する際は、自己責任でお願いします。

## ライセンス



## 第 1 章

# マークダウンの基本

```
library(tidyverse)
```

### 1.1 セクションへのリンク

見え方	コード
Chapter 3	<code>[@sec-caution]</code>
3	<code>[-@sec-caution]</code>
セクション 3	<code>[セクション -@sec-caution]</code>
3章	<code>[-@sec-caution] 章</code>
3	<code>[-@sec-caution 章]</code>
注意事項	<code>[注意事項] (#sec-caution)</code>

### 1.2 図表へのリンク

- Figure 2.1 を参照, 図 2.1 を参照
- Table 2.1 を参照, 表 2.1を参照





## 第 2 章

# 图表

### 2.1 图

```
library(ggplot2)
ggplot(mtcars) +
  geom_point(aes(mpg, disp))
```

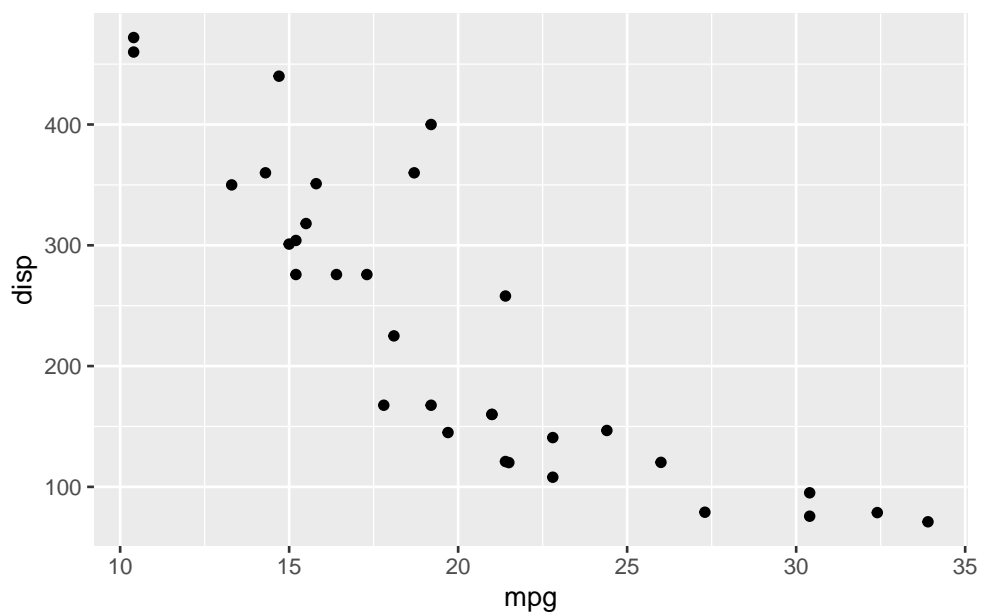


Figure2.1: 散布图

Figure 2.1 を参照

## 2.2 表

Table2.1: 表タイトル

Col1	Col2	Col3
x	1	10
y	0	20

Table 2.1 を参照

## 第 3 章

# 注意事項

- 奇数ページだと 1 ページ白紙になるので，偶数ページにしないとだめ
- 前半，後半部分は，PDF として作成するときはページ数増えるので不要かも

著者：著者名  
発行：2019 年 11 月 18 日  
サークル名：サークル名  
連絡先：メールアドレス  
印刷：印刷所名